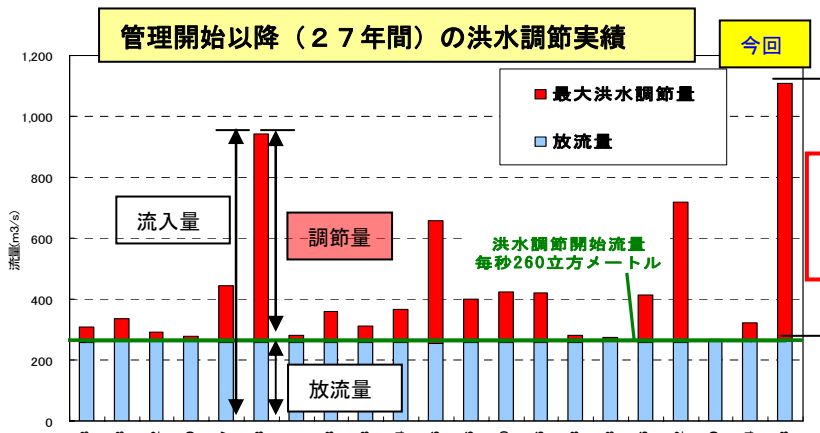
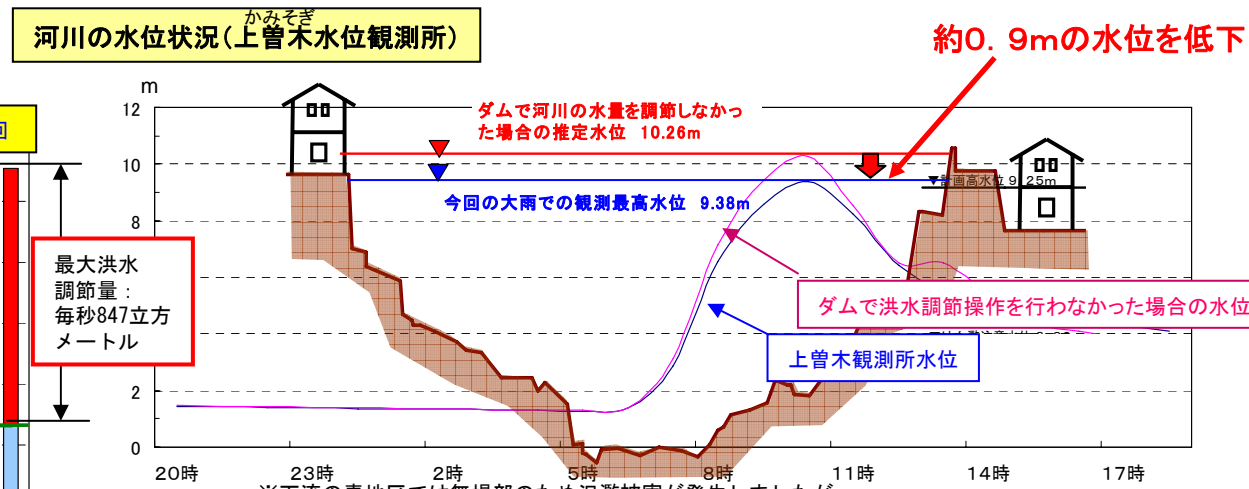
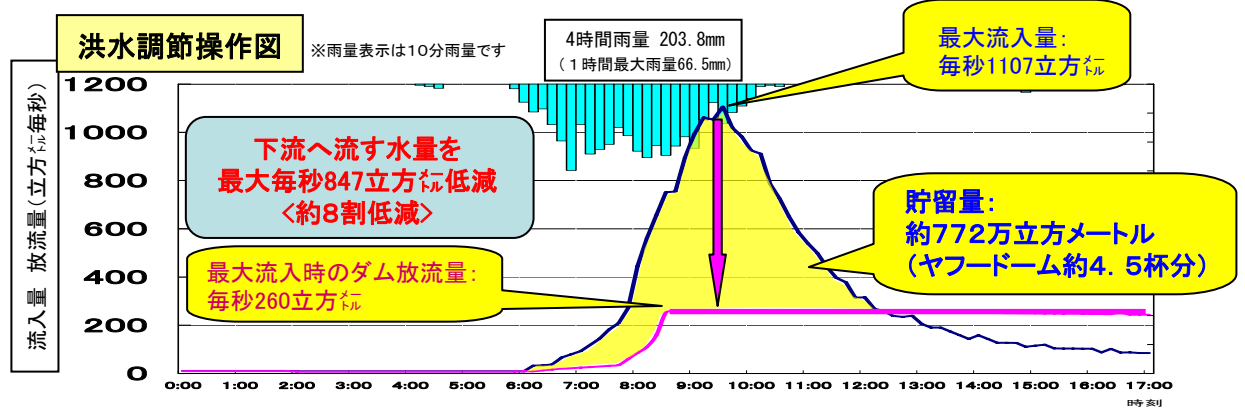
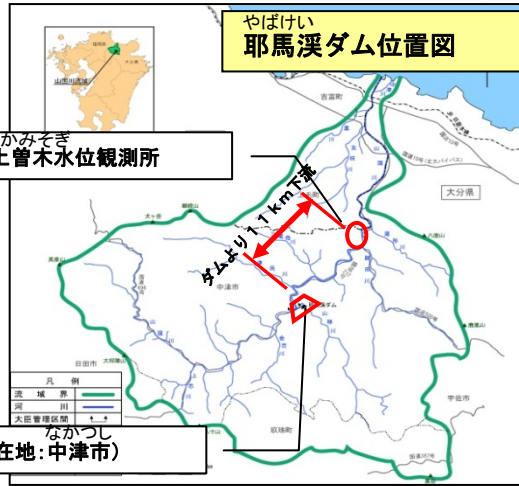


耶馬溪ダムの洪水調節操作とその効果 ~山国川 河川水位 約0.9m低下~

- 山国川水系耶馬溪ダムの上流域において、4時間で203.8mmの雨量を観測し、最大流入量は毎秒約1107立方メートルに達し、**ダムの管理開始以降最大を記録**※しました(平成24年7月3日)。 ※これまでの最大流入量:毎秒941立方メートル(H5.9.3 台風13号)
- 今回の洪水調節操作において、操作規則どおりの適切な操作を行うことで**約772万立方メートル(福岡ヤフードーム約4.5杯分)の水をダムに貯留し下流の河川へ流す水量を最大で毎秒約847立方メートル(約8割)低減**しました。
- この結果ダム下流の上曾木観測所地点(大分県中津市本耶馬溪町青地区)では**約0.9mの水位を低下**させる効果があったものと推測されます。



※下流の青地区では無堤部のため氾濫被害が発生しましたが、ダムで貯留したことにより、約0.9mの水位低下効果があったものと推測されます。 ※数値は速報値のため、今後変わる場合があります。